



高齢者ブレインバンク

「次世代のために」

～健やかなあたまとからだのために～



講演

『認知症ってなに？

どうやって診断するの？

研究の最前線は？』

東京都健康長寿医療センター 脳神経内科 部長 **岩田 淳**



認知症とはそもそも何か、どうやって診断するのか、ということをご存じの方は意外に少ないと思います。脳の病気は内臓の病気と違って直接顕微鏡などでみて病名を決めることができないものが多いという点が特徴です。医師は様々な検査を組み合わせることで何々病らしいという様に診断してきましたが、経験によるところも大きく、不正確な点も否めませんでした。

最近では特殊な検査を行うと、顕微鏡で見たのと同じくらい正確に診断する事が出来る様になってきましたが、まだまだ治療法を含めて十分ではありません。認知症になる動物は人間以外ほとんどいません。認知症の解明には、ヒトの脳に生じている変化を調べる事が重要なのです。このため認知症の医療を発展させるために皆様の研究へのご協力が不可欠です。皆様と一緒に新しい医療を発信しましょう！

ブレインバンクとは

アルツハイマー病やパーキンソン病などの老化性疾患は、脳や脊髄の神経細胞がうまく働かなくなるために起こる病気です。

このような疾患の原因や病態は未だ解明途上であり、発症メカニズムを明らかにし治療法開発へつなげるために死後脳研究は欠かせません。

ブレインバンクはヒト脳を系統的に蓄積し、疾患克服のため尽力する医学研究者へ提供することにより、今後の医療の発展に貢献しています。



高齢者ブレインバンク事務局 03-3964-3241 (内線 4419 / 4417)

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター ホームページ <https://www2.tmig.or.jp/brainbk/>

